

生徒指導だより

小平市立小平第四中学校
生活指導だより 5月号
令和7年5月23日(金)

いよいよ夏らしい季節が到来してきています。今週から運動会二週間前となり、練習にもこれまで以上に熱が入ってきました。また、部活動においても各部が佳境に差し掛かり、大会に向けて練習にも熱が帯びてきています。今回は、運動会や部活動、熱中症に関する内容を掲載しますので、ご確認くださいと思います。

他校の運動会の訪問・応援について

今月、市内や近隣の中学校等、多くの学校で運動会が開催されますが、運動会における他校への訪問・応援は市内外問わず原則禁止となっております。(保護者同伴の場合は参観可能となっております)他校の生徒を勧誘することも禁止ですので、ご注意ください。

部活動の応援について

今月より各部で夏季大会等が実施されますが、部活動の応援に関して注意事項があります。ご確認ください。

- ①在校生による部活動の応援は原則禁止となっております。小平四中会場はもちろん、市内・市外・私立学校、小平四中以外の試合も同様です。
- ②ただし、兄弟・姉妹関係につきましても、保護者の方同伴であれば可としています。服装は、標準服または四中指定のジャージ・体育着としてください。また、学校生活のルールに則って応援に来るようにしてください。

熱中症対策について

今週から暑さが本格化してきております。体育の授業や部活動以外にも熱中症になる危険性が十分にあります。本校では以下のような熱中症対策をしております。ご確認をお願いいたします。

- ①登下校中の熱中症予防のための用具(ネックタオル、クールリング、保冷剤、日傘、帽子等)の使用は妨げませんが、用途以外の使い方や校舎内での使用は控えてください。また、ハンディファン等の電気(電池)を使用する用具は不可としています。
- ②活動中は一部の教室で冷房を効かせてあります。活動中だけでなく、活動後に必要に応じてクールダウンができるようにしています。特に休日は、クールダウンをさせてから帰宅させるケースがありますので、ご了承ください
- ③校庭の校舎側にミストを設置しております。必要に応じて利用できるようになっております。
- ④授業中の給水を授業に支障のない範囲であれば認めております。
- ⑤ペットボトル等の持参は認めておりませんので、大きめの水筒を持参していただき、中身がなくなることがないようにご準備をお願いいたします。なお、水筒の中身は、水・お茶・スポーツドリンクとなっております。

正門の閉門について

先日報道されました立川市の小学校での不審者侵入を受けて、本校でも登下校時間を除く時間帯において、正門をかんぬき錠で閉門することといたしました。来校の際の開門とお帰りの際の閉門のご協力をお願いいたします。また、昇降口のドアも原則閉めておくことにするので、生徒のみなさんは出入りの後は閉めるようしてください。なお、今後の避難訓練で不審者対応の訓練を実施し、有事に備えていきます。

事故や事件に気を付けて

最近、小中学生の集団に車が突っ込む事故が多発しています。四中周辺の道路の道幅は狭く、車一台通るのに精一杯な場所もあります。ドライバーは、全員が安全運転を心掛けているとは限りません。わき見運転や飲酒運転、不注意等、危険運転をする車がいつ自分たちと遭遇するかわかりません。登下校の様子を時折見かけると、話に夢中になって横に広がっている人がいます。未然に事故を防ぐためにも、片側通行を心掛けてほしいと思います。また、日常生活から以下の点に気を付けて生活するようにしてください。

- ・車道への飛び出しや、駐車車両の前後からの横断は絶対しない。
- ・青信号であっても、左右の安全を確認して、車が止まってから横断する。
- ・車は歩いている自分に気がついていないかもしれないという危機感をもつ。
- ・横断禁止場所横断や斜め横断は絶対にせず、横断歩道や歩道橋を利用する。
- ・トラックなど大きい車両が右左折してくる時は、車両に絶対近づかない。
- ・自転車利用時は、ヘルメットを必ずかぶり、一時停止等の交通ルールを守る。
- ・キックスケーターやローラーブレードなどの遊具を道路で使用しない。

また、事故の他に、不審者の目撃情報も増えています。不審者に遭遇した際は以下の行動をとるようにしてください。

- ・不審者に遭遇した場合は、すぐに110番する。
- ・必ず保護者や近くの大人、警察に知らせたり、こども110番の家に助けを求めたりする。
- ・不審者に遭遇した場合は、助けを求めたり、その場を離れたりすること。
- ・できる限り複数で下校すること。
- ・「いかのおすし」の約束を確認すること。
- ・暗くなる前に家に帰ること。
- ・夜間一人で出歩かないこと。



学校生活の様子

新年度が始まって1ヶ月が過ぎましたが、生活面での一人一人の意識した行動が随所に見られています。挨拶では、以前よりも「自分から進んで」「明るく元気な」挨拶をする人が増えてきました。「〇〇先生さようなら！」と遠くからでも挨拶をしてくれるとても嬉しい気持ちになります。先日は、生徒会の企画による「あいさつウィーク」も実施され、四小・十小・十五小に有志で約40名の生徒があいさつ運動に何うなど、学校だけでなく、地域にも挨拶の輪を広げていこうとする姿もありました。また、生活委員は授業中の「先言後礼」の現状について振り返り、今後も継続していくために各クラスに呼び掛けていました。

時間については、朝の予鈴登校もこれまでよりも頑張りが見られます。予鈴を過ぎての登校の人数が減ってきただけでなく、予鈴に間に合わせようと急ぐ姿勢も増えてきました。授業や給食の開始、昼休み後の様子も時間通りに行動する様子が見えます。また、先日の全校朝礼では、8:20から移動という普段よりも早い時間の登校でしたが、ほとんどの人がその時間に間に合い、8:30に朝礼を開始することができました。運動会の全校練習では、予定開始時刻よりも数分早く集まることができ、そのお陰で足りないところを重点的に練習する時間もとることができました。個人だけでなく、集団としての時間の意識もよくなってきています。

「当たり前のことを当たり前にする」ことは、意外と簡単なものではありません。一人ひとりの意識がやがて「習慣」になるようにこれからも継続して行ってほしいと思います。